



長野県松本県ヶ丘高等学校 東京同窓会
会報：第1号(1981)～第31号(2009)

あがた

縮刷版

あがた

会報：第1号(1981)～第31号(2009)

縮
刷
版



会報「あがた」縮刷版発行にあたって

松本県ヶ丘高等学校 東京同窓会 第5代会長 小林全 (高4回卒)

会員の皆さまにはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

このたび、会報「あがた」の縮刷版が、東京同窓会役員の皆様のご尽力により編纂・発行されました。誠に同慶に堪えませぬ。発行に関わる経緯につきましては、別途本書の中でお示しされるものとし、割愛させていただきます。若干、記憶を遡りますと、会報「あがた」は、初代会長故樋口和博さんにより昭和56年6月に創刊されております。当初は年2回発行された年もありますが、概ね年1回発行で推移され、平成21年4月発行の第31号へと継続しております。年輪を重ねた会報記録が、東京同窓会活動を刻む意義ある節目の一環として集大成することができました。この「縮刷版」が少しでも同窓生皆様の糧となり、お役に立てて頂ければこの上ない喜びであります。

県陵80有余年の歴史と、伝統文化の中で学び育ち、全国津々浦々で活躍されている母校卒業生は、平成21年3月末現在25,253名であります。加えて

2010年の今春322名の卒業生がめでたく学窓を旅立たれました。(母校事務局提供)

ここに併記したい一つに、昭和55年4月から実行された「愛のリレー」活動であります。県陵卒業30年を記念し、松本本部同窓会・東京同窓会が共同して母校に図書の寄贈が主たる目的であります。初回は県陵高卒1期生により始まり、今日へ脈々と受け継がれ、揺るぎない母校支援事業として定着しております。と同時に、同窓会總會等の立て役を担う実行委員体制の要員としても、それぞれの組織を通し、同窓生はじめ同朋各位の交流の原動力となつて、母校発展へ大きく寄与されている現状であります。

どうぞ、会員各位におかれましては、東京同窓会への参加にいまひとつ馴染みのない方々に、積極的な情報提供を広めて頂き、一人でも多くの同窓生が年1回の交流の場にもご参加されますよう、その動機付に一層のお力添えをお願い申し上げます、発行にあたってのご挨拶といたします。(平成22年6月)

縮刷版発行に寄せて

松本県ヶ丘高等学校 東京同窓会 第7代幹事長 柴山英毅 (高11回卒)

縣陵東京同窓会は、復活してから本年度63年目を迎えます。

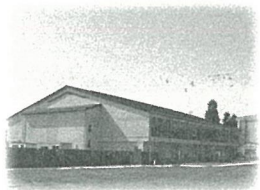
戦前の昭和16年に本部同窓会に支部会則が制定され東京支部がスタートしましたが、戦争により中断。戦後昭和21年に本部同窓会の開催に合わせ、東京においても同窓会設立の機運が高まり、翌22年秋に第1回の東京同窓会が開催され、以後8回ほど続きましたが、諸般の事情から約10年の空白期間を経て昭和43年に再復活。第17回総会から毎年の開催、現在に至っています。再復活後同窓会の継続開催のために、組織の確立、名簿の整備等に尽力し、中でも同窓生のコミュニケーション媒体として、また同窓生の絆を寄り強固にするために会報の発行をと、当時の樋口会長が強く要請され、昭和56年、第15回総会を機に会報担当副幹事長を任命、組織的に発行する体制を確立しました。17回総会から毎年1回の発行、22回総会から総会担当実行委員会を中心に28回総会から広報委員会がサポートし、現在に至っています。

平成19年に同窓会復活60年、同窓会開催40回になる

のを記念して、強い母校愛、同窓愛によつて残された諸先輩の数々の資産(会報、アルペンゴルフ会、縣陵レディース、東虹会、卒業30年実行委員会等)を継承し後輩につなげていくことが今の我々の役割ではないかと考え、その記念事業の一環として会報「あがた」の縮刷版を制作することにし、縮刷版出版委員会を発足させ、今回皆様にお届けすることになりました。

多情多感な青春時代を同じ校舎で学び、同じ校庭で遊んだ者同志の心の絆として、なつメロだけに終わるのではなく、懐かしい思い出とともに、今日のそれぞれの生き方、明日の発展の糧になるメリットを大切にお互いが今日を語り、明日を励ましあう集いのツールとして、また東京に出て学び、働く多くの学友、同窓生の皆が胸襟を開いて語り合うオアシスとして、それぞれの場に積極的に参加して活用されることを願っています。

出版にあたり、各種資料の提供をしていただいた幹事の皆様、出版委員会委員の皆様にご感謝申し上げます。(平成22年6月)



改築された体育館 / 第 25 号より



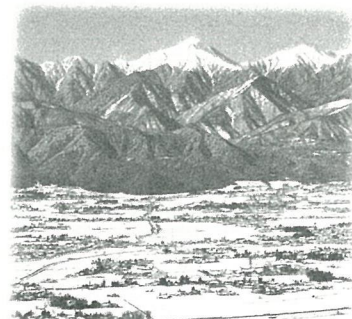
左から小林全氏、有賀正氏、京田伸吾学
校長、小林清完氏 / 第 28 号より



在りし日の松本「中劇」 /
第 27 号より



県陵レディース：「相馬原自衛隊第十二旅団」
体験見学 / 第 25 号より



城山トンネル上方より雪の常念岳と
安曇平を望む / 第 25 号より



雪の松本城 / 第 26 号より



松本駅前通りから
美ヶ原を望む / 2005 年撮影



昭和 25 年演劇公演「破戒」上演のあとで /
第 28 号より



創立 80 周年記念音楽祭 (上)
創立 80 周年記念式典 (下) / 第 26 号より



第 58 回アルペン会ゴルフコンペ・
相模湖 CC にて / 第 30 号より



第 40 回東京同窓会総会・懇親会 / 第 30 号より

写真提供 /
松澤 弘子 (高 4 回卒)
村上 重義 (高 23 回卒) ほか

目次

発行にあたって	006
県陵三大精神	008
第 1 号 昭和 56 年 (1981 年) 6 月 4 日発行	009
第 2 号 昭和 57 年 (1982 年) 2 月 1 日発行	013
第 3 号 昭和 58 年 (1983 年) 3 月 15 日発行	017
第 4 号 昭和 58 年 (1983 年) 7 月 5 日発行	021
第 5 号 昭和 59 年 (1984 年) 6 月 8 日発行	025
第 6 号 昭和 59 年 (1984 年) 11 月 29 日発行	029
第 7 号 昭和 60 年 (1985 年) 6 月 7 日発行	033
第 8 号 昭和 61 年 (1986 年) 6 月 3 日発行	037
第 9 号 昭和 62 年 (1987 年) 6 月 12 日発行	041
第 10 号 昭和 63 年 (1988 年) 6 月 10 日発行	045
第 11 号 平成元年 (1989 年) 6 月 1 日発行	049
第 12 号 平成 2 年 (1990 年) 6 月 8 日発行	059
第 13 号 平成 3 年 (1991 年) 6 月 7 日発行	067
第 14 号 平成 4 年 (1992 年) 6 月 4 日発行	079
第 15 号 平成 5 年 (1993 年) 6 月 17 日発行	091
第 16 号 平成 6 年 (1994 年) 7 月 1 日発行	103
第 17 号 平成 7 年 (1995 年) 7 月 7 日発行	115
第 18 号 平成 8 年 (1996 年) 6 月 14 日発行	131
第 19 号 平成 9 年 (1997 年) 6 月 13 日発行	147
第 20 号 平成 10 年 (1998 年) 6 月 19 日発行	165
第 21 号 平成 11 年 (1999 年) 6 月 18 日発行	181
第 22 号 平成 12 年 (2000 年) 6 月 10 日発行	197
第 23 号 平成 13 年 (2001 年) 4 月 30 日発行	213
第 24 号 平成 14 年 (2002 年) 4 月 30 日発行	229
第 25 号 平成 15 年 (2003 年) 4 月 30 日発行	245
第 26 号 平成 16 年 (2004 年) 4 月 30 日発行	261
第 27 号 平成 17 年 (2005 年) 4 月 30 日発行	277
第 28 号 平成 18 年 (2006 年) 4 月 30 日発行	293
第 29 号 平成 19 年 (2007 年) 4 月 28 日発行	309
第 30 号 平成 20 年 (2008 年) 4 月 30 日発行	325
第 31 号 平成 21 年 (2009 年) 4 月 30 日発行	341
号外 樋口名誉会長追悼集	357
あとがき	359
東京同窓会の歩み	360
アルペン会の歩み	362
県陵レディースの歩み 東虹会の歩み	363

県陵三大精神

質実剛健であれ

大道を闊歩せよ

弱音を吐くな



写真提供 / 松本県ヶ丘高校同窓会事務局

あとがき 縮刷版によせて

第42回東京同窓会実行委員長

31やまびこ会

福井順ふくいしゆん

(高31回卒)

昨年、実行委員長就任の際、濱副会長より「あがた」の貴重なバックナンバーのファイルをお預かりしました。そして今年、次期大澤康典実行委員長に引継ぎました。

今の率直な感想……終わってみると「感謝」→先輩諸氏の足跡（そくせき）のお陰で私たち後輩がいるの一言です。県陵の歴史に興味が増しています。高校時代、歴史は特段好きでも得意でもなかったのですが、自分が関係する歴史は別ものと気付きます。訳もわからず夢中で一年間やった実行委員、終わってみればこんなに県陵を知った一年はなかったと実感します。

今後、二度は廻って来ませんが、今の気持ちでもう一度やってみたいとふと思います。

「あがた」は、先輩と同輩と後輩とを結ぶ架け橋です。

県陵卒業30周年、自然に同窓同期で集まりたくなる。自分のDNA・血の濃さを知るのですね。それは自然なことなのでしょう。

私には「県陵」「31やまびこ会」の文字を鮮やかにあしらった未使用Tシャツがあります。2009年長野マラソンに着用して走るため特注しました。事情によりまだお蔵入りになっていますが、近々実現させたいと思っています。一人ひとり形は違えど、皆のなかで「県陵」はずっと続いていくのでしょうか。

(平成22年6月)



写真提供／松本県ヶ丘高校同窓会事務局

松本県ヶ丘高等学校 東京同窓会・総会43回の歩み

平成22年2月10日 記録 東山英毅

開催回数	開催日時	開催場所	参加人数	特記事項
第1回	昭和22年秋	日本青年館	73名	発起人 青柳季男・中澤恒夫(中1回) 笠原正文(中2回) 中澤依男・藤若尾(中3回) 塩原貞文(中7回)
第2回	23年	昭和電工本社会議室	60名	
第3回	24年	日比谷公園地下駐車場会議室		
第4回	27年3月20日(金)	赤坂白亜軒	72名	母校より副会長、恩師招待
第5回	28年3月15日(日)	目黒八芳園		母校より恩師を招待(4名) 最高に華やいだ総会であった
第6回	30年5月7日(土)	芝郵政会館		母校より恩師を招待(4名)
第7回	31年5月19日(土)	新宿白鳳荘	150名	母校より恩師を招待(5名) 第1回東京同窓会名簿発行
第8回	33年6月28日(土)	新宿厚生年金会館	300名	10年ぶりに復活、第2回東京同窓会名簿発行 袈裟春(中3回) ●会費5,000円 東京同窓会別発行
第9回	43年11月25日(月)	新宿厚生年金会館		第1回アルペン会赤羽G.C開催8名参加
第10回	44年5月10日(土)	目黒八芳園		幹事長 塩原貞文(中7回)に交代 第3回東京同窓会名簿発行
第11回	46年3月5日(金)	東京タワー		第4回東京同窓会名簿発行
第12回	49年5月16日(木)	新宿厚生年金会館		第5回東京同窓会名簿発行 ●会費3,500円(他、年会費2000円徴収)
第13回	51年10月22日(金)	私学会館	210名	●会費6,000円 会則の改正 名誉会長樋口和博(中1回)、新会長根本静夫(中5回)
第14回	54年6月8日(金)	新宿大飯店	223名	新幹事長 中澤依男(中3回) 会報「あがた」1号発行 ●新卒会員を無料招待開始
第15回	56年6月4日(木)	竹橋会館	238名	新幹事長 大澤清重(中13回)に交代 運営資金の公募を実施
第16回	58年6月3日(金)	新宿厚生年金会館	176名	隔年開催から毎年開催の初年度 第6回東京同窓会名簿発行
第17回	59年6月8日(金)	新宿ワシントンホテル	242名	七期会(桐原俊文)高7回担当 東虹会設立
第18回	60年6月7日(金)	はあといん乃木坂	201名	三一会(濱一)高8回担当 「愛のリレ」卒業30年目同期が実行委員会として運営を開始
第19回	61年6月6日(金)	麹町会館	174名	三二会(平澤和久)高9回担当 第20回アルペン会越生G.C
第20回	62年6月12日(金)	麹町会館	204名	三三会(桐原茂)高10回担当 ●会費7,000円 会則の改正
第21回	63年6月10日(金)	麹町会館	197名	三四会(山本英毅)高11回担当「集え! 東京同窓会へ」 ●新卒会員を有料化2,000円に
第22回	平成元年6月1日(木)	アルカディア市ヶ谷	215名	珊瑚会(小出智男)高12回担当「来たれ東京同窓会(絆)」 ●新幹事長 森山修二(高1回)
第23回	2年6月8日(金)	アルカディア市ヶ谷	237名	東京サブロク会(小林勲)高13回担当 記念レカ発行
第24回	3年6月7日(金)	アルカディア市ヶ谷	271名	二七会(中野幹隆)高14回担当「晩餐会」 ●会費8,000円に 総会25回記念 記念レカ発行
第25回	4年6月4日(木)	アルカディア市ヶ谷	311名	三八会(吉田勝彦)高15回担当 ●会費9,000円に 第30回アルペン会厚木国際C.C 記念レカ発行
第26回	5年6月17日(木)	アルカディア市ヶ谷	198名	三九会(花岡進)高16回担当
第27回	6年7月1日(金)	アルカディア市ヶ谷	229名	

第28回	7年7月7日(金)	アルカディア市ヶ谷	285名	一七期会(金子吉信)高17回担当 ●会費10,000円、新卒会員3,000円に、 会費振り込み制実施 5年委員会発足 場内募金中止 第2回東虹展
第29回	8年6月14日(金)	アルカディア市ヶ谷	317名	東京一八会(三澤政興)高18回担当「生かそう! 東京同窓会ネットワーク」 根本名誉会長逝去
第30回	9年6月13日(金)	アルカディア市ヶ谷	239名	一九会(横山章)高19回担当「あなたに、愛、たい!!」 運営細則発行 幹事会代表幹事会 同窓会発足から50年 総会30回記念 会則の改正
第31回	10年6月19日(金)	都ホテル東京	217名	新幹事長に東山英毅(高11回)就任 会報「あがた」20号 二〇二〇会(高嶋知由)高20回担当「集え! 東京同窓会」
第32回	11年6月18日(金)	ホテルセンチュリーハイアット	243名	二〇二〇会(高嶋知由)高20回担当「集え! 東京同窓会」
第33回	12年6月10日(土)	赤坂アークヒルズ全日空ホテル	216名	二〇二〇会(高嶋知由)高20回担当「集え! 東京同窓会」
第34回	13年6月9日(土)	虎ノ門パストラル	205名	二〇二〇会(高嶋知由)高20回担当「集え! 東京同窓会」
第35回	14年6月7日(金)	東京グリーンパレス	179名	二〇二〇会(高嶋知由)高20回担当「集え! 東京同窓会」
第36回	15年6月14日(土)	エステック情報ビル Y.S.パーティールーム	185名	二〇二〇会(高嶋知由)高20回担当「集え! 東京同窓会」
第37回	16年6月12日(土)	ホテルセンチュリーハイアット	173名	二〇二〇会(高嶋知由)高20回担当「集え! 東京同窓会」
第38回	17年6月11日(土)	ホテル海洋	191名	二〇二〇会(高嶋知由)高20回担当「集え! 東京同窓会」
第39回	18年6月10日(土)	アルカディア市ヶ谷	259名	二〇二〇会(高嶋知由)高20回担当「集え! 東京同窓会」
第40回	19年6月9日(土)	大手町サンケイブザ	229名	二〇二〇会(高嶋知由)高20回担当「集え! 東京同窓会」
第41回	20年6月14日(土)	アルカディア市ヶ谷	306名	二〇二〇会(高嶋知由)高20回担当「集え! 東京同窓会」
第42回	21年6月13日(土)	アルカディア市ヶ谷	302名	二〇二〇会(高嶋知由)高20回担当「集え! 東京同窓会」
第43回	22年6月12日(土)	アルカディア市ヶ谷		二〇二〇会(高嶋知由)高20回担当「集え! 東京同窓会」

役員	会長	幹事長
初代	昭和43年11月〜昭和56年6月 樋口和博(中1回)	昭和43年11月〜昭和46年3月 丸山袈裟春(中3回)
2代	昭和56年6月〜平成2年6月 根本静雄(中5回)	昭和46年3月〜昭和56年6月 塩原貞文(中7回)
3代	平成2年6月〜平成10年6月 大澤清重(中13回)	昭和56年6月〜昭和57年12月 中澤依男(中3回)
4代	平成10年6月〜平成16年9月 山岸光臣(高3回)	昭和57年12月〜平成2年6月 大澤清重(中13回)
5代	平成17年6月〜 小林全(高4回)	平成2年6月〜平成10年6月 森山修二(高1回)
		平成10年6月〜平成14年6月 濱一昌(高8回)
		平成14年6月〜 東山英毅(高11回)

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会 「アルペン杯」争奪ゴルフコンペ成績表

Table with columns: 回 (Round), 開催日 (Date), 曜 (Day), 天候 (Weather), コース (Course), 参加者 (Participants), 優勝者 (Winner), 準回 (Runner-up), クロス (Cross), ネット (Net), 準優勝者 (Runner-up), 準回 (Runner-up), クロス (Cross), ネット (Net). Rows 1-62.

県陵レディースの歩み

Table with columns: 第1回 (1st Round) to 第12回 (12th Round), 開催日 (Date), 内容 (Content). Rows 1-12.

東虹会の歩み

Table with columns: 昭和57年 (1982), 昭和60年 (1985), 昭和61年 (1986), 昭和62年 (1987), 昭和63年 (1988), 昭和66年 (1991), 昭和67年 (1992), 昭和68年 (1993), 昭和69年 (1994), 平成7年 (1995), 平成13年 (2001), 平成19年 (2007), 平成20年 (2008). Rows 1-13.

編集後記

この「あがた」縮刷版は、巢山幹事長の元で30余年に及ぶ会報誌が1号も1ページも漏れ無く良好な状態で保管されて来た印刷物を、1ページずつスキャンし、ありのままのデータを編集したものです。発行当初は活版印刷で、用紙も薄く裏写りなどで読みにくい部分もありますが、ご容赦をお願いいたします。

これは、言うまでもなく県陵東京同窓会の記録であり、歴史そのものであります。そしてまた東京同窓会へ支援・協力を注いでくれた多くの同窓生の限らない愛情の結晶でもあります。

今後も、「あがた」が40号、50号と脈々と続いていく上で、この一冊が同窓生相互の絆を深めるための教科書として役割を果たせること確信いたします。

表紙など作品を提供していただいた、百瀬太虚(30回卒)様、写真を提供していただいた、母校同窓会事務局には心から感謝申し上げます。

1981年の創刊当時は、東京同窓会の存在すら知らなかった者が、編集の一員として節目の大仕事に巡り合えた幸運を光栄に思います。

平成22年6月

県陵東京同窓会 広報委員長 荒木仁一(高23回卒)

あがた 縮刷版
会報・第1号(1981)〜第31号(2009)

平成22年(2010)6月12日発行

発行 長野県松本県ヶ丘高等学校 東京同窓会

発行人 東京同窓会会長 小林 全 (高4回卒)

編集 東京同窓会会報あがた縮刷版出版委員会

濱 一昌 (高8回卒)

巢山英毅 (高11回卒)

百瀬興一 (高12回卒)

長島正毅 (高14回卒)

三澤政興 (高18回卒)

久保田昇子 (高18回卒)

青柳善久 (高20回卒)

荒木仁一 (高23回卒)

荒木仁一 (高23回卒)

高嶋知由 (高25回卒)

中野明弘 (高28回卒)

赤羽正行 (高29回卒)

百瀬太虚 (高30回卒)

赤須光雄 (高31回卒)

印刷 電算印刷株式会社

表紙 油絵 「穂高」: 百瀬 太虚 (武利) 高 30 回卒
デザイン 荒木 仁 一 高 23 回卒